

カテーテルアブレーション治療を受けられるID: 様へ

パスコード:06006 世代:4

発行日:1900/01/00

経過 月日	外来(入院前)	入院 (月 日 時)	治療日 (月 日)	(治療翌日) (月 日)	退院予定日 (月 日)	
達成目標		治療内容が理解できる	心身安定した状態で治療を受けることができる	症状・苦痛の有無を表出できる	症状・苦痛の有無を表出できる	退院後の注意点を理解できる
治療 ・処置・検査 薬剤(点滴)		カテーテル挿入部位の予定は 橈骨部、肘部、鼠径部、鎖骨下です 鼠径部の場合は清潔を保つために毛剃りをします。  治療時に胸部にシールを貼るため胸毛を除毛します  鼠径部を穿刺する場合は、足背の脈がふれる位置 に印をつけます。  心電図モニターをつけます。	<検査前>  ( )時間前から点滴を行います。  尿道に管またはサック型(男性)の器具を使用しま す。検査1時間前に入れます。  検査1時間前に 肘、 橈骨に痛みを和らげる シールをに貼ります。  ( )時頃に和式寝衣に着替えます。  検査に行く前に入れ歯・めがね・指輪・時計など金 属類は外します。	<検査後> 穿刺部はガーゼで圧迫止血をします。 指示 があるまで外さないでください。  点滴は医師の指示があるまでおこないます。  尿道の管またはサック型の器具はベッド上安 静のため、挿入したままです。  心電図モニターをつけます	心電図モニターは退院まで装着します。  採血の結果や全身の状態をみて、可能で あれば点滴を抜針します。  尿道の管またはサック型(男性)の器具を 外します	退院時にモニターを外します。  
	<b>入院前より別紙記載の如く一 部の内服薬を中止して下さい。</b>	持参薬の確認をします。  医師の指示により内服薬を一部変更することがあ ります。  入院中は内服薬はいったんお預かりし、内服時 にお持ちします(万が一誤内服があると、治療ができ ない可能性があるためです)			治療の結果や経過に応じ、抗不整脈・抗 凝固薬・降圧薬などの内服を変更する可能 性があります。	退院後の内服について 説明があります。
	外来受診時もしくは 入院時 心電図 レントゲン 血液検査	外来受診時もしくは 入院時 心電図 レントゲン 血液検査	カテーテル検査は(午前・午後 時)頃 からです。(他患者の緊急治療のため、検 査時間が変更になる場合もあります)	心電図	心電図 レントゲン 採血	
安静度		検査時間の変更がある可能性があるため、 病棟内でお過ごしください。  医師の判断により集中治療室 (CCU/ICU)に入室することがあります。  検査当日は再出血を防ぐため、基本的には ベッド上で過ごしていただきます。	カテーテル穿刺部の止血について 足の場合 2~6時間程度止血のためテープで圧迫固定 をします。足は曲げないで下さい。ベッド上安静 となります。安静度については看護師から説明 があります。  腕・肩の場合 約2時間後に圧迫固定を外します。  その他の穿刺部位がある場合、部位に応じ て圧迫時間は調整します。	病棟内を歩行できます。  	運動の制限は患者様によって 異 なるので主治医にご確認ください。  運動中の脈拍数が(220-年齢)程度で あれば適度な運動です。それ以上であ れば、過度の負担が心臓にかかっている ので運動は中断してください。	
食事		特に制限ありません。 病気の種類別に食事が始まります。  	(朝・昼)が欠食になります  飲水は( )時までです (検査2時間前まで可能です)	飲食は可能です。  	食事制限は患者様によって異なりま す。退院時に看護師が説明します。  体の機能を維持するため必要な栄養素 を過不足なく摂取できるよう1日3回規則 正しくバランスのよい食事を心がけましょ う。	
清潔		入浴していただけます。  		穿刺部位の血が止まっていることを確認し てから着替えをします。  入浴・シャワーは禁止です。 体ふきを行います。 心臓に負担をかけないため です。		
患者様 及び ご家族への説明	外来にて説明  この説明用紙は入院時にお持 ちください。  内服薬を1週間分持参してくだ さい。  入院中や退院後の生活につ いて心配なことがあれば相談してく ださい。	主治医より検査・治療について入院時に説明があ ります。ご家族の方と一緒に聞いていただきます。  看護師より検査について説明します。 名前の確認のためにネームバンドをつけていた きます。  治療の状況により70歳未満の患者様は高額医療 (限度額認定)の対象になります。入院時にパンフレ ットに説明用紙を入れております。手続きをして入院し てください。  現在日常生活で不安なことや気になる点がある項 目(疾患・食事・運動・内服・睡眠・排泄など)につ いては入院中看護師が説明します。	アブレーション治療の結果は、治療後にご家族の方と一緒に医師より説明があります。  病状やその他の理由により退院が延期となる場合があります。  穿刺部に出血や痛みがあればナースコールでお知らせください。  手足が動かさしにくい・しゃべりにくい等の症状があればすぐにお知らせください。	日常生活で気になること不安なことにつ いて看護師から説明します。不明な点があ れば看護師に聞いてください。  	1週間程度は穿刺部位に負荷をかける ような動作は避けてください。  	

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承ください。

主治医:

大阪南医療センター クリニカルバス委員会 2023/3/29承認